

香川の  
土地改良

みどり  
水は里ネット香川

発行所  
香川県土地改良事業団体連合会  
高松市番町五丁目1番29号  
TEL (087) 832-7140  
FAX (087) 832-7150  
<https://www.midorinet-kagawa.or.jp>



2025 初春

「雪の豊稔池」(観音寺市 大野原町)



## 目 次

1. 新年のご挨拶 香川県土地改良事業団体連合会 会長 宮本欣貞	3
全国土地改良事業団体連合会 会長 二階俊博	4
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問	
参議院議員 進藤金日子	5
都道府県土地改良事業団体連合会会長会議 顧問	
参議院議員 宮崎雅夫	6
中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所 所長 村下秀文	7
香川県農政水産部 部長 桑原 仁	8
香川県農政水産部土地改良課 課長 松平和也	9
香川県農政水産部農村整備課 課長 井上一夫	10
2. 農業農村整備の集い開催	11
3. 令和7年度農業農村整備予算の確保・拡大について	
農林水産省並びに県選出国會議員に要望	12
4. 本会第2回監事会開催／本会第201回理事会開催	13
5. 第46回全国土地改良大会千葉大会開催／2024年秋の叙勲受章	14～15
6. 農業農村整備関係の令和6年度補正予算及び令和7年度予算の概算決定	16～17
7. 大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催／	
中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談開催	18～19
8. 令和6年度土地改良区役職員研修会開催	20
9. 令和6年度統合整備推進研修（会計研修）開催／	
令和6年度換地計画実務研修会開催	21
10. 全国水土里ネット会長会議宮崎雅夫顧問国政報告／	
かがわ水土里ネット女性の会第4回運営委員会開催	22～23
11. 中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会開催	24
12. かがわ水土里ネット女性の会現地研修開催	25
13. 土地改良区における男女共同参画推進について	26
14. 農業用施設賠償責任保険のご案内／非補助農業基盤整備資金のご案内	27
15. 会と催し	28





## 新年のご挨拶

香川県土地改良事業団体連合会

会長 宮本 欣貞

明けましておめでとうございます。

会員各位をはじめ、農業農村整備事業関係者の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から本会の運営に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜っておりますことに、改めて厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、元日に発生した石川県能登地方を震源とする大きな地震では、大きな被害がありました。また、記録的な猛暑が長く続いた夏であり、自然の大きな力を感じさせられる年でした。一方、スポーツ界では夏季オリンピック・パラリンピックパリ大会が開催され、オリンピックでは金20個、銀12個、銅13個のメダルを海外で開催された大会としては過去最高の金メダル獲得数を、また、パラリンピックでは金14個、銀10個、銅17個のメダルを獲得という素晴らしい成績を収めました。

こうした中、国会においては石破新総理が誕生し、昨年10月27日に衆議院選挙が行われました。その結果、国会の勢力図が大きく変わったところでもあります。その後12月27日に閣議決定された令和7年度政府予算案においては、農業競争力強化や国土強靱化を計画的に推進するための農業農村整備事業関係予算は4,464億円（対前年度比100.0%）と厳しい予算折衝の中で前年とほぼ同額、令和6年度の補正予算と合わせると6,500億円と、前年を上回る予算を確保することができました。

また、昨年5月29日に食料・農業・農村基本法の改正法が成立し、6月5日に公布・施行されたことを受けて令和6年度中に基本計画の改定を実施し、食料安全保障の強化に向けた施策を集中的に実施するとともに、この改正で農業生産基盤の保全に必要な施策を講じることが明記され、気候変動による災害リスクの増大、施設の老朽化の進行や農村人口の減少等に的確に対応できるよう、土地改良法改正案の次期通常国会提出を目指し具体的に議論されているようであります。農業水利施設や農地の整備、これら施設の維持管理をしている土地改良区としても、将来にむけた地域の営農環境の維持・確立や運営基盤の強化のための取組みを進めていかなければならないと考えております。

さらに、女性理事が登用されていない組織数をゼロとする、理事に占める女性の割合を10パーセントとするという目標を掲げている「男女共同参画」については、令和7年度を目標年度としており、土地改良関係者皆様のこれまで以上のご理解とご協力のもと取組みを進めていく必要があると考えております。土地改良区の役職員の皆様方には大変ご苦勞をお掛けいたしますが、ご尽力賜りますようお願いいたします。

本会といたしましては、土地改良区による農業農村の防災・減災対策等のための農業水利施設の更新・維持管理などの農業生産基盤の整備を図るため、更に皆様方と一緒に闘っていくことが極めて重要であると認識しており、香川県が目指している「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」に向け、会員及び関係者の皆様方とともに各種事業の着実な推進に努めてまいり所存でありますので、変わらぬご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方のより一層のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



## 年頭あいさつ

全国土地改良事業団体連合会

会長 二階 俊博

令和7年の年頭に当たり、全国の土地改良事業に携わっておられる皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年は、年始めの1月1日に石川県能登地方を震源とした震度7の大地震が発生し、能登半島を中心に甚大な被害が発生するとともに、9月には記録的な豪雨により奥能登ではさらに被害が増し、能登半島は未だ復旧、復興の途にあります。

また、全国各地で記録的な豪雨が相次ぎ、大きな被害が発生しました。被害を受けられた地域の一日も早い復旧・復興を祈念するとともに、我々土地改良団体も団結して被災地の支援に取り組んでいかなければなりません。

さて、令和7年の干支は乙巳（きのとみ）であります。努力を重ね、物事を安定させていくという意味合いを持ち、これまでの努力や準備が実を結び始める時期とされています。これまで我々土地改良関係者が積み重ねてきた様々な努力が実を結ぶ年となることを強く祈念するところです。

昨年、食料・農業・農村基本法が改正され、「食料安全保障の強化」、「環境と調和のとれた食料システムの確立」が新たな柱に位置付けられました。令和7年度農林水産関係予算は、農業の持続的な発展、農村の振興等を図るため、農業の構造転換の実現に向けた施策を初動の5年間で集中的に実行するとともに、農林水産業の持続可能な成長を推進するための予算となっており、農業農村整備事業関係予算においては4,464億円が確保され、令和6年度補正予算を加えると6,500億円となります。皆様の熱意ある要請活動と農林水産省をはじめとする関係各位の御尽力に厚く御礼を申し上げます。

第5次男女共同参画基本計画及び土地改良長期計画において、令和7年度までに女性理事が登用されていない土地改良区及び土地改良区連合をゼロに、併せて女性理事の割合を10%以上とすることが成果目標に設定されており、いよいよ最終年度を迎えました。皆様の御理解をいただき着実に女性理事の登用が進められてきたところですが、目標達成に向け、更なる取組をお願いしたいと思います。将来の土地改良団体の体制強化と発展には女性の力は必要不可欠です。女性が活躍できる環境づくりに関係各位の一層の御理解と御協力をお願いします。

そして、本年は我々の職域の代表である宮崎雅夫さんの勝負の年ともなります。

もう一人の代表である進藤金日子さんと共に全国津々浦々の現場を回り、皆さんの声を聞き、現場が直面している課題解決の処方箋を国の政策に反映させるよう奮闘しておられます。二人体制の重要性を十分に御理解いただき、皆さんの声を国会に届けるためにお二人の活動の支援をお願いします。

「農業農村の振興」を果たすためには、限りなく闘い続けていかなければなりません。「闘う土地改良」を旗印として組織一体となって更なる闘いを続けていこうではありませんか。

輝かしい年の初めに当たり、本年も皆様の地域の農業・農村が活力を得て、一層発展するよう御期待申し上げますとともに、様々な不安が払拭され、本年が全国の皆様にとって良き年であり、日々健やかに過ごされますよう御祈念申し上げ、新年の御挨拶といたします。



## 新年にあたって

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 進藤 金子

香川県土地改良事業団体連合会の皆様には、平素よりお世話になっています。

昨年元旦に能登半島地震が発生、8月に宮崎県沖地震が発生し、南海トラフ地震の発生可能性が高まったとして巨大地震注意臨時情報が初めて発表されました。改めて地震大国日本を感じ、国土の防災・減災、国土強靱化を進めていく必要性を痛感した1年となりました。

また、昨年6月に食料・農業・農村基本法が改正され、新たな基本法の下での農政がスタートしました。改正から初動の5年間で「農業構造転換集中対策期間」として、農業政策の再構築を図ることとしており、本年は初動一年目の重要な年となります。

私自身、一昨年の12月14日から約11ヶ月間、財務大臣政務官を務め、国の財政について日常的に接する機会を得ました。国家財政の観点からも我が国の将来像を考えていかなければなりません。

さて、現在の防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策は、計画期間が令和3年度～7年度、事業規模は概ね15兆円程度となっていますが、令和6年度補正予算で2.4兆円の事業費が措置され、概ね15兆円を達成しました。現在、次期対策の国土強靱化実施中期計画の検討が進められていますが、この計画に土地改良については「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」や「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」等を位置付け、事業規模も現対策以上の規模を確保する必要があります。

次に農政については、本年3月までに食料・農業・農村基本計画が策定されます。政府全体の方針は、「輸入依存度の高い麦・大豆の増産、水田政策を見直す取組、輸出の抜本拡大を図る取組等について効果的な政策を基本計画に盛り込む」（令和6年8月27日、「食料安定供給・農林水産業基盤強化本部」）ことであり、今後、具体的な検討が進められます。

食料安全保障の確保のためには、食料自給力の強化が不可欠で、私の持論である①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策をパッケージで実施することが必要であり、このうち、土地改良については、令和6年度補正予算の2,037億円と令和7年度当初予算政府原案の4,464億円を加え、6,500億円の予算を確保しました。この予算を活用して土地改良対策を進めていく必要があります。

最後に我が国の財政状況を見てみます。令和6年度末の公債残高は、特例公債（いわゆる赤字国債）残高が803兆円、建設公債残高が298兆円で1,105兆円となる見込みです。平成21年度末の公債残高は、特例公債残高が356兆円、建設公債残高が238兆円の594兆円ですので、この15年間に公債残高はほぼ倍増し、内訳は赤字国債が2.26倍の447兆円増、建設公債が1.25倍の60兆円増となっています。建設国債は社会資本ストックを後世に残すことから、後世に負担を求めることの説明が可能ですが、赤字国債の負担を後世に説明することは困難と考えています。一義的には、経済成長を促し、将来にわたり税収を増やして財政の健全化を図る中で、後世の負担を軽減し、政策選択の自由度を確保することだと考えます。昨年の賃上げ率、企業の設備投資も過去最高の水準ですので、この傾向を継続し、デフレから完全脱却して我が国経済を成長させ財政健全化を図っていくことが重要です。

農政や国土強靱化、我が国経済の転換の大事な節目である令和7年が始まるにあたって、決意新たに農業農村の振興、国家の発展に向けまい進してまいりたいと考えています。同志の宮崎雅夫議員共々皆様からのご指導とご鞭撻を心からお願い申し上げるとともに、香川県土地改良事業団体連合会の一層のご発展とご繁栄をお祈りいたします。





## 新年にあたって

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問

参議院議員 宮崎 雅夫

香川県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進や施設の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私、宮崎雅夫の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜り衷心より感謝申し上げます。

また、昨年も能登半島地震をはじめ、全国各地で甚大な災害が発生しました。被災された方々に心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早く日常生活を取り戻して頂けるよう、復旧・復興に最大限の努力をまいります。

さて、昨年は、社会情勢の不安定化等に起因し、食料や資材価格等が高騰するとともに、全国的に食料供給に対する懸念も広がった1年でした。食料は、生命維持に不可欠なものであり、どのような事態が生じたとしても安定的に確保することが国の責務であります。このような状況に対応するため、四半世紀ぶりに「食料・農業・農村基本法」を大幅に改正しました。

私も皆様方から多くのご支援をいただきながら、現場でお聞きした皆様のお声やご要望等に対し、それぞれの状況に即して、国政の場から全力で対応してまいりました。こうしたご要請を踏まえて、土地改良関係の令和6年度補正予算では、昨年度の補正予算から260億円増の2,037億円（食料安全保障強化対策161億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災・国土強靱化対策1,116億円）を確保できました。加えて、12月に閣議決定した令和7年度当初予算案では、前年度を上回る4,464億円が計上され、補正予算と合わせて総額6,500億円を確保することができました。皆様方のご尽力に感謝申し上げますとともに、次期通常国会において、早期成立に向け努力してまいります。

私は、全国各地の現場にお伺いして様々なご意見を頂き、また、土地改良関係者等の皆さんからアンケートにより今後の政策に関するご意見を頂戴し、それらをもとに、私の政治活動の目標を8つ決めました。そのうち、土地改良に関係する目標は、以下の6点です。

目標1) 土地改良の予算を確保し、制度を充実します。目標2) 儲かる農業を実現し、食料安全保障を強化します。目標3) 農地・水を保全し、土地改良区の運営基盤を強化します。目標4) 自然豊かで住みよい農山漁村を創ります。目標5) 自然の脅威に備え、災害に迅速に対応します。目標6) 男性と女性が共に活躍する農山漁村づくりを進めます。

これら政策目標を達成するには、土地改良等の各種施策を確実かつ的確に実行していかなければなりません。

本年は私にとって節目の年となりますが、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を基本理念として、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保と現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きのご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、香川県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係の皆様方の益々のご発展とご健勝を心より祈念申しあげます。



## 新年のご挨拶

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所  
所 長 村下 秀文

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、日頃から香川県内の農業農村整備事業へのご理解とご協力、また、農業・農村振興へご尽力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

四国土地改良調査管理事務所は、現在、丸亀市飯山町に本所、坂出市、徳島県阿南市および愛媛県松山市に分室・支所を置き、四国管内における①国営土地改良事業の実施に関する調査計画（地区調査、全体実施設計等）、②国営土地改良事業によって造成された施設の管理に必要な調査・調整（ストックマネジメント、流域治水等）、③農業水利施設等に関する情報管理・分析（水利権更新等）などの業務を行い、管内の国営事業地区に対し将来にわたってフォローアップを続けていく役割を担っています。

さて、令和6年12月27日に閣議決定されました令和7年度農林水産関係予算については、対前年度比100.1%の22,706億円が計上されています。そのうち、農業農村整備事業関係予算は4,464億円、令和6年度補正予算（防災・減災、国土強靱化、災害復旧等）2,037億円と合わせ6,500億円が確保される見込みとなっています。農地集積・集約化、担い手確保・経営継承などの施策とも連携しながら、これらの予算を計画的、効率的に活用することにより、重要なかつ緊急の課題への効果的な対策につながるものと考えられます。

また、令和6年5月に「食料・農業・農村基本法」が四半世紀ぶりに改正され、「食料安全保障の抜本的強化」、「環境との調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村のコミュニティの維持」の実現を目指し、基本理念の見直しと、関連する基本的施策等が定められました。本年度中に新たな基本法に基づく食料・農業・農村基本計画を策定し、施策の具体化を着実に進め、食料安全保障の強化等に向けて農業の構造転換を図るための施策を集中的に実施していくこととされており、人口減少下における農業用インフラの保全管理を進めるため、土地改良法の見直しも検討されています。

当事務所としましても、基本計画の策定や土地改良法の見直し、各種施策の具体化の動きを注視しながら、土地改良区はじめ地域の関係者の皆様と連携し、前歴事業を通じて築かれてきた四国地域の農業・農村を守り、さらに次世代への継承に向けた取り組みを進めてまいります。

今後とも引き続き、事業の調査・計画、管理段階からの皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

香川県農政水産部  
部長 桑原 仁

令和7年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃、香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、農業農村整備の推進はもとより、県政各般にわたり格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、国では、昨年5月に食料・農業・農村基本法の改正案が成立しました。本改正法では基本法の制定から四半世紀が経過する中で、食料をめぐる情勢が大きく変化していることを踏まえ、「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における農業生産の維持・発展と農村の地域コミュニティの維持」の実現を目指し、基本理念の見直しと関連する基本的施策等が定められております。また、本改正法に基づく、新たな食料・農業・農村基本計画の策定や土地改良法の見直しが進められるなど、農業・農村を取り巻く情勢は大きく変化しております。

県においては、「人生100年時代のフロンティア県」の実現を目指し、令和5年10月に県の総合計画の見直しを行い、農林水産物の安定供給や経営の安定化に向けて、生産性を高める基盤整備を進め、農林水産業の持続的な発展を図るとともに、ため池の整備を計画的に進め、災害や渇水に強い県土づくりを推進してまいります。また、「香川県農業・農村基本計画」に基づき、「農業の持続的な発展と活力あふれる農村づくり」を基本目標に、積極的な施策展開を図ってまいります。こうした中、現行の香川県農業・農村基本計画については、計画期間が令和7年度に終了することに伴い、令和8年度から5か年を計画期間とする次期基本計画の策定に向けて、社会情勢の変化や国の施策を踏まえつつ、検討作業を進めております。

農業農村整備については、豪雨や地震などの自然災害に備えた、ため池の総合的な防災・減災対策をはじめ、多様な担い手のニーズに即したほ場整備や農業用水のパイプライン化、老朽化した農業水利施設の計画的かつ効率的な補修・更新による長寿命化対策など、農業を支える生産基盤の整備に取り組んでまいります。

特にため池については、昨年1月に発生した能登半島地震により、改めて防災・減災対策の必要性がクローズアップされており、本県では「老朽ため池整備促進計画（第12次5か年計画）」に基づき、劣化が進行した防災重点農業用ため池の計画的かつ集中的な防災対策を進めるとともに、「香川ため池保全管理サポートセンター」を活用したため池の監視・管理体制の強化に向けた取り組みを通じて、ため池災害の未然防止に努めてまいります。加えて、県土の保全、水源のかん養や洪水防止機能など、農業・農村が有する多面的機能の維持・発揮に向けて、農業者や地域住民等が共同して行う多面的機能支払制度や、田んぼダム等の流域治水の取り組みなどについても鋭意推進してまいります。

これらの事業を円滑に推進するためには、貴連合会の皆様方の一層のご支援、ご協力が重要になりますので、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員皆様方にとりまして、本年が希望に満ちた明るい年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





## 新年のご挨拶

香川県農政水産部土地改良課  
課長 松平和也

明けましておめでとうございます。日頃、宮本会長をはじめ会員の皆様方におかれましては、県行政に対する御理解、御協力を賜り、とりわけ農業農村整備事業の推進に御尽力をいただいていることに厚く御礼申し上げます。

さて、国においては農業・農村をめぐる諸情勢が変化し、食料安全保障がますます重要となるなか、昨年5月に食料・農業・農村基本法が改正されました。改正基本法では、農業生産基盤の「保全」に必要な施策を講じることが明記され、施設の老朽化の進行、気候変動による災害リスクの増大や農村人口の減少等に対応するため、現場の実態を踏まえた土地改良法の改正も予定されているところです。また、令和7年度政府当初予算の農業農村整備事業関係予算案が決定され、農業の競争力強化や国土強靱化のための農業農村整備を計画的に推進するため対前年度比100.0%、4,464億円が予算計上されたところです。

こうした中、県では、令和5年度を初年度とする「老朽ため池整備促進計画（第12次5か年計画）」を策定し、老朽度が高い防災重点農業用ため池から計画的かつ集中的に整備を実施しており、このハード整備を補完するため、貴連合会を運営主体とする「香川ため池保全管理サポートセンター」による現地パトロールやため池管理者への助言・指導によって、適正管理を支援し、ため池の安全確保も図ってまいります。また、管理・監視体制の強化・省力化を図るため、遠隔監視カメラ・水位計の設置、技術講習会の開催や、緊急時の迅速な避難につなげるためのハザードマップを活用した防災訓練についても、引き続き、市町やため池管理者と連携して推進してまいります。

一方、農地の整備については、国において農業者の費用負担を軽減する事業制度の充実等により、近年、農地の大区画化・汎用化や農業用水のパイプライン化などによる優良農地の確保への地元要望が高まっており、県では今後とも、農地の整備を推進するとともに、整備を契機とした、担い手への農地の集積・集約化や高収益作物の導入、田んぼダムの取り組み拡大も図ることとしております。

さらに、農業生産を維持するためには、ため池をはじめとする農業水利施設等の機能を将来にわたり安定的に発揮させる必要がありますが、近年、農業者の高齢化や減少、混住化等により受益農地が減少する施設も見られ、土地改良区が中心となり担ってきた施設の保全管理が困難になることが懸念されており、県としても、引き続き、地域の実情を踏まえて施設の保全管理に対して支援してまいります。

加えて、土地改良区については、農地の整備や農業水利施設などの保全管理を通して、生産基盤の維持や地域資源の保全において重要な役割を担って頂くとともに、農業・農村の変化に対応して機能や役割が効率的・効果的に発揮されるよう、貴連合会とともに、運営体制の強化や適正な事業執行に向けた取り組みを推進してまいります。

今後とも、農業の持続的な発展と活力ある農村づくりを目指して、農業農村整備に携わる職員が一丸となって取り組んでまいりますので、会員の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

香川県農政水産部農村整備課

課長 井上 一夫

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮本会長や三笠副会長、齋藤副会長をはじめ香川県土地改良事業団体連合会会員の皆様方には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進はもとより県政各般にわたり格別のご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり農業・農村は、県民生活にとって不可欠な食料供給はもとより、洪水の防止や水源のかん養、自然環境の保全、美しく安らぎを与える景観の形成などの多面的機能を有しています。しかしながら、農業・農村を取り巻く情勢は、農業者の高齢化の進行に伴う労働力不足や集落機能の低下、農産物価格の低迷、肥料価格の高騰、頻発する自然災害などの課題に直面しており、これらの課題に適切に対応することが求められております。

こうした中、国においては、昨年、農政の基本的な方針である、「食料・農業・農村基本法」が改正され、食料安全保障の確保、環境と調和のとれた食料システムの確立、農業の持続的な発展、農村の振興が基本理念として掲げられ、現在、初動5年間で農業の構造転換を集中的に推し進められるよう、基本計画の令和6年度中の改訂に向け、検証・見直し検討が進められているところであります。

本県におきましても、令和5年10月に、県政運営の基本指針である総合計画の見直しを行い、「人生100年時代のフロンティア県・香川」実現計画を策定し、「農林水産業の先進県へ」を重点政策として、農林水産業の安定供給や経営の安定化に向けて、担い手の確保・育成や、農林水産物の生産振興・需要拡大、生産性を高める基盤整備の推進、農山漁村の多面的機能の維持や都市住民との交流を促進し、農林水産業の持続的な発展を図り、魅力ある産業として次世代に継承するとともに、活力ある農山漁村をつくってまいります。

農村整備課では、貴連合会や市町など関係機関と連携のもと、中山間地域をはじめ、比較的小規模な地域において、地域条件や地域のニーズに即したきめ細やかな生産基盤の整備と生活環境の改善や都市交流の場として必要な施設の整備、農業生産活動の省力化に向けた支援を進めてまいります。

また、現在、基本法の改正を踏まえた「多面的機能支払制度」や「中山間地域等直接支払制度」の見直しが進められておりますが、同制度を活用した農地やため池、水路などの保全管理や周辺環境を保全する共同活動を促進し、持続的な農業活動による多面的機能の維持・発揮に努めてまいります。

さらに、農村の所得向上と地域の活性化に向けて、農村地域の豊かな自然や農産物を活かし地域が連携した農泊やグリーン・ツーリズムの推進、ソーシャルメディア等を活用した本県農村の魅力やイベントなどの情報を発信し、都市住民との交流を促進してまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 農業農村整備の集い開催



全国土地改良事業団体連合会 二階会長による挨拶

11月5日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

この集いには、全国から農業農村整備事業関係者約1,200名が参加し、本県からは、本会の宮本欣貞会長をはじめ、各地区の土地改良協議会会長ら11名が参加した。

主催者を代表して、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長の挨拶、次に来賓として出席された小里泰弘農林水産大臣、城内実経済安全保障担当大臣、森山裕自民党幹事長 TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、西田実仁公明党幹事長らから祝辞が述べられた後、「令和7年度当初予算の安定的確保」など10項目の要請書が全会一致で採択された。続いて、前寺清一石川県土地改良事業団体連合会副会長より令和6年度能登半島地震の復旧状況等の事例報告があった。

最後に、全国水土里ネット女性の会西彩会長らにより令和7年度予算確保に向けたガンパロウ三唱を行い、会場は拍手で応えて「農業農村整備の集い」は盛会裏に終了した。



森山裕自民党幹事長 TPP・日EU・日米TAG等  
経済協定対策本部長による祝辞



ガンパロウ三唱



## 令和7年度農業農村整備予算の確保・拡大について 農林水産省並びに県選出国會議員に要望

11月5日から6日に、令和7年度農業農村整備事業関係予算の確保に向け、農林水産省並びに県選出国會議員に対して、「ため池サポートセンター」の取組み等ハード・ソフトの両面から総合的なため池の防災・減災対策の推進、土地改良区の運営基盤強化のための支援・指導、また、土地改良区の合併や事務統合に対する支援の推進や地域資源の保管理や農村の活性化に有効な「多面的機能支払制度」の推進、長寿命化対策の予算確保などについて要望した。

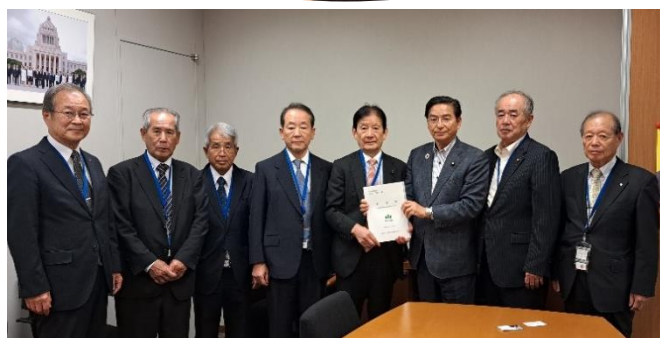
なお、公務のため手交できなかった香川県選出国會議員については、秘書に説明し要望書を提出した。



平井卓也衆議院議員に要望書を提出



瀬戸隆一財務大臣政務官に要望書を提出



山本博司参議院議員に要望書を提出



進藤金日子財務大臣政務官に要望書を提出

## 第2回監事会開催

12月9日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、令和6年度本会第2回監事会を開催した。

監事会は、監事3名出席のほか本会会長、常務理事の立会いのもとに中間監査が行われた。

監査の結果、本会の予算執行状況並びに財務状況についていずれも適正に処理されているとの報告があり、全議案が承認された。



監事会の様子

### 議案

- (1) 令和6年度中間監査実施計画について
- (2) 令和6年度予算執行状況及び財務状況報告について
- (3) 令和6年度一般会計収支補正予算について

## 第201回理事会開催

12月24日、香川用水記念会館1階多目的室において、本会第201回理事会を開催した。

冒頭、宮本欣貞会長から、10月の全国土地改良大会千葉大会への出席のお礼、また11月の農業農村整備の集い及び予算要望活動等の実施について報告があった。その後、透明性・競争性・公正性の確保のための電子入札導入、ため池の管理状況調査・巡回監視、ハザードマップを活用した防災訓練等の取組み、さらには、多面的機能支払制度の推進や事務作業等について支援を行っていくので、ご支援・ご協力をお願いしたい旨の挨拶があった。

その後、桑原仁香川県農政水産部長からの来賓挨拶に引き続き、宮本会長が議長となり、下記の2議案が審議され、いずれも原案どおり承認され閉会した。

### 議案

- (1) 香川県土地改良事業団体連合会職員給与規程一部改正の専決処分の承認について
- (2) 令和6年度一般会計収支補正予算について



本会 宮本会長による挨拶



香川県農政水産部 桑原部長による挨拶



# 第46回全国土地改良大会千葉大会開催

「ふさの国から飛び立て水土里の恵み  
力強く未来に繋ごう水土里の礎」



全国土地改良事業団体連合会 二階会長  
による祝辞



熊谷千葉県知事による歓迎の言葉

10月22日、千葉県千葉市の幕張メッセにおいて、第46回全国土地改良大会が開催された。この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会して、農業・農村の重要性とそれを支える農業農村整備事業の役割を広く国民にアピールし、国の礎である農業・農村をさらに発展させるとともに、永く次世代へ引き継いでいくことを目的としている。

今年は、ふさの国から飛び立て水土里（みどり）の恵み力強く未来に繋ごう水土里（みどり）の礎をテーマに開催され、全国各地から土地改良関係者約4,000名が参加した。

式典は、開催地である森英介千葉県土地改良事業団体連合会会長の大会旗入場・開会挨拶で始まり、主催者を代表して二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長が挨拶された。続いて、熊谷俊人千葉県知事及び神谷俊一千葉市長の代読として橋本直明千葉市副市長から歓迎の挨拶があった。さらに小里泰弘農林水産大臣の代読として青山健治農林水産省農村振興局次長及び千葉県選出の櫻田義孝（前）衆議院議員、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員から祝辞が述べられた。

その後、土地改良事業功績者表彰が行われ、農林水産大臣表彰6名、農林水産省農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰41名が表彰された。本県からは、香川用水土地改良区の薦田通夫理事が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞された。



基調講演では、農林水産省の青山健治農村振興局次長から「乗り越え、受け継ぐ土地改良」と題して講演があり、続いて、土地改良事業優良事例地区紹介があり、篠本新井土地改良区の伊橋秀和理事長から「集落営農型基盤整備」について説明があった。

引き続き、東葛北部土地改良区と小糸川沿岸土地改良区の職員2名が大会宣言で「農業・農村の重要性を共有し、農業を支える土地改良施設を、我々土地改良関係者が一致団結してしっかりと守り、力強く未来に繋いでいく」と誓った。

最後に森千葉県土地改良事業団体連合会会長から義経賢二全国土地改良事業団体連合会副会長に、義経全土連副会長から次期開催県である田島健一佐賀県土地改良事業団体連合会会長へと大会旗が引き継がれたあと田島会長の挨拶があり、その後、ちば水土里ネット女性の会の富山和代会長らの閉会の挨拶をもって、大会は盛会裏に閉会した。



全国土地改良事業団体連合会会長表彰受賞の薦田香川用水土地改良区理事



櫻田(前)衆議院議員による祝辞



宮崎参議院議員による祝辞



進藤参議院議員による祝辞

## 2024年秋の叙勲受章

11月3日、2024年秋の叙勲受章者が発表された。県関係は、県内在住者57名と県外在住者7名の計64名が荣誉に輝いた。

このうち土地改良事業功勞として、高松市西植田土地改良区(元)理事長の泉川定信氏(92歳)が旭日単光章を受賞された。

泉川氏は平成15年12月から理事に就任し、平成19年12月から平成27年12月までの2期にわたり理事長を務められた。その後、令和5年12月まで理事を務められ、理事長を含め20年の長きに亘って土地改良区の発展に大きく貢献された。その間、ため池や農道の整備、災害復旧等、数多くの土地改良事業を実施し、農業の生産性向上を見据え農業生産基盤の整備に尽くされた。

土地改良区の発展と土地改良事業の推進にご尽力いただき、弛みない努力に敬意を表し、今後とも益々お元気でご活躍されることをご期待申し上げます。



高松市西植田土地改良区(元)理事長 泉川 定信氏

## 農業農村整備関係の令和6年度補正予算及び令和7年度予算の概算決定

12月27日、令和7年度政府予算案が閣議決定された。農林水産省の予算総額は対前年度比100.1%の22,706億円、このうち、農業農村整備事業予算は対前年度比100.2%の3,331億円となった。これに、令和6年度補正予算を加えると5,368億円（対前年度比161.4%）となる。

### 総括表

区分	6年度予算額	7年度概算決定額	6年度補正追加額
	億円	億円	億円
農林水産予算額 (対前年度比)	22,683 —	22,706 100.1%	8,678
1. 公共事業費 (対前年度比)	6,986 —	6,966 99.7%	3,917
一般公共事業費 (対前年度比)	6,784 —	6,786 100.0%	3,201
災害復旧等事業費 (対前年度比)	202 —	180 89.1%	716
2. 非公共事業費 (対前年度比)	15,700 —	15,741 100.3%	4,761

- (注) 1 金額は関係ベース。  
 2 計数整理の結果、異動を生じることがある。  
 3 計数は、四捨五入のため、端数においては合計とは一致しないものがある。

### 農業農村整備事業関係予算の概要

事項	令和6年度 当初予算額	令和7年度 概算決定額 A	令6年度 補正予算額 B	合計 A+B
	億円	億円	億円	億円
農業農村整備事業(公共) (対前年度比)	3,326 —	3,331 100.2%	2,037	5,368 161.4%
農業農村整備関連事業(非公共) (対前年度比)	548 —	548 100.0%	—	548 100.0%
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px;">           農地耕作条件改善事業            農業水路等長寿命化・防災減災事業            畑作等促進整備事業 農山漁村振興交付金         </div>				
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分) (対前年度比)	588 —	584 99.3%	—	584 99.3%
計 (対前年度比)	4,463 —	4,464 100.0%	2,037	6,500 145.7%

- (注) 1 計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しない場合がある。

**令和7年度概算決定の概要**

農業農村整備事業の令和7年度概算決定については、スマート農業技術の導入に資する農地の大区画化や水田の汎用化・畑地化、新たな農業水利システムの構築、国土強靱化のための農業水利施設の適切な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策や流域治水対策、農道や集落排水等の生活インフラの整備等を推進するため、3,331億円を概算決定するとともに農山漁村地域整備交付金の農業農村整備分及び非公共事業である農地耕作条件改善事業等と合わせ対前年比100.0%の4,464億円を概算決定。なお、これらに令和6年度補正予算2,037億円を加えると、対前年度比145.7%の6,500億円となる。

**令和7年度概算決定 主要事業****○農業農村整備事業<公共>**

スマート農業技術の導入に資する農地の大区画化、水田の汎用化・畑地化、農業水利施設の計画的な更新・長寿命化、省エネ化・再エネ利用、省力化等による適切な保全管理、ため池の防災・減災対策、田んぼダムの取組拡大等流域治水対策、農道、集落排水施設の整備等を推進する。

**○農地耕作条件改善事業**

農地中間管理機構による農地の集積・集約化、麦・大豆や高収益作物への転換を推進するため、機構による担い手への農地の集積・集約化が行われる地域等において、農地の区画拡大や排水改良等を支援する。

**○農業水路等長寿命化・防災減災事業**

農業生産活動の基盤となる農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、機動的・効率的な長寿命化・防災減災対策を支援する。

**○農山漁村地域整備交付金<公共>**

地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付する。

**○多面的機能支払交付金**

農業・農村の多面的機能の維持・発揮や地域全体で担い手を支えることを目的として、農業者等で構成される活動組織が行う地域資源を適切に保全管理するための共同活動を支援する。

活動組織の体制強化や地域共同で行う環境負荷低減の取組を促進する。

**○農業水利施設、ため池等の対策<公共>**

農業用ダムの洪水調節機能の強化や田んぼダム等流域治水の取組を推進するほか、農業水利施設等の安定的な機能発揮、老朽化対策及び豪雨・地震対策、防災重点農業用ため池の防災工事等を推進する。

**○海岸堤防等の対策<公共>**

南海トラフ地震等の大規模地震が想定される地域での堤防の補強、嵩上げ等による津波・高潮対策や、老朽化が進行した海岸保全施設の修繕・更新を支援する。



## 大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催

10月4日、大川地区土地改良協議会主催による土地改良周知会がさぬき市のじゃこ丸パーク津田で開催され、引き続き本会の土地改良相談を行った。

土地改良周知会では、三野真弓香川県農政水産部農業生産流通課副主幹から水田活用の直接支払交付金についての説明や高畑宏基香川県農政水産部農業経営課農地マネジメント推進室主任技師から非農地化についての説明のほか、下記の内容で研修が行われた。土地改良相談では、「規約等改正のスケジュールについて」、「国営農用地再編整備事業の活用について」等の相談が挙げられた。



大川地区土地改良協議会 大山会長による挨拶

### 研修会

- (1) 水田活用の直接支払交付金について  
香川県農政水産部農業生産流通課 副主幹 三野真弓
- (2) 非農地化について  
香川県農政水産部農業経営課農地マネジメント推進室 主任技師 高畑宏基
- (3) 単独県費補助事業について  
香川県東讃土地改良事務所 指導課 課長 増田浩城
- (4) 香川用水通水50周年について  
香川県東讃土地改良事務所 指導課 課長 増田浩城

## 中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談開催

10月10日、仲多度土地改良事業推進協議会並びに綾歌土地改良協議会主催による土地改良研修会が、坂出市の坂出グランドホテルにおいて開催され、引き続き本会の土地改良相談を行った。

土地改良研修会では、相続登記申請の義務化について平山則好高松法務局民事行政部不動産登記部門統括登記官より説明があったほか、下記の内容で研修が行われた。また、土地改良相談では、「土地改良区定款第6条（公告の方法）について」、「土地改良区会計検査指導基準について」等の相談が挙げられた。

なお、今回は、進藤金日子財務大臣政務官、瀬戸隆一財務大臣政務官、大野敬太郎（前）衆議院議員による国政報告も併せて行われた。



仲多度土地改良事業推進協議会  
栗田会長による挨拶



綾歌土地改良協議会 前川会長による挨拶



香川県中讃土地改良事務所  
亀井所長による挨拶



香川県土地改良事業団体連合会  
官本会長による挨拶



進藤財務大臣政務官による国政報告



瀬戸財務大臣政務官による国政報告



大野(前)衆議院議員による国政報告

### 研修会

- (1) 中讃管内の事業概要について  
香川県中讃土地改良事務所 次長(兼)防災・監督主幹 河合博人
- (2) 相続登記申請の義務化について  
高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 平山則好
- (3) 水田活用の直接支払い交付金について  
香川県農政水産部農業生産流通課 課長補佐 三木哲弘
- (4) 非農地化について  
香川県農政水産部農政水産部農業経営課農地マネジメント推進室 主任技師 高畑宏基
- (5) 単独県費補助事業について  
香川県中讃土地改良事務所 指導課長 太田靖史

## 令和6年度土地改良区役職員研修会開催

11月12日、令和6年度土地改良区役職員研修会をレクザムホール（香川県県民ホール）多目的大会議室において開催した。

この研修会は、土地改良推進事業の一環として、土地改良区の健全な組織運営等を目的に毎年開催しており、今年度は、令和6年6月にあった「食料・農業・農村基本法」の改正に伴う土地改良法の改正等をはじめ、本県における担い手の育成・農地に関する施策のほか、農業基盤関係資金の借入、デジタル原則を踏まえた法手続の見直しなど幅広い内容の研修会で、参加した土地改良区の役職員等138名は熱心に耳を傾けていた。



中国四国農政局農村振興部土地改良管理課  
田中課長補佐による講義



香川県農政水産部農業経営課  
古市課長による講義



香川県農政水産部土地改良課  
林主任による講義



日本政策金融公庫高松支店農林水産事業  
融資課 柚木上席課長代理による講義



香川県農政水産部土地改良課  
寺井副主幹による講義



香川県農政水産部土地改良課  
小比賀課長補佐による講義

研修科目	講師
「食料・農業・農村基本法」の改正に伴う土地改良法の改正等について	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 課長補佐 田中禎史
本県における担い手の育成・農地に関する施策について	香川県農政水産部農業経営課 課長 古市崇雄
田んぼダム推進事業について	香川県農政水産部土地改良課 主任 林 公章
農業基盤関係資金の借入について	日本政策金融公庫高松支店農林水産事業融資課 上席課長代理 柚木紗知
デジタル原則を踏まえた法手続の見直しについて	香川県農政水産部土地改良課 副主幹 寺井芳子
「安心して共に暮らせる人権尊重社会 ～差別をなくし多様性を認め合う～」	香川県総務部人権・同和政策課 参事 雨霧壽男
土地改良区体制強化事業等について (特別検査結果を受けて)	香川県農政水産部土地改良課 課長補佐 小比賀英俊



## 令和6年度統合整備推進研修（会計研修）開催

10月18日、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスにおいて、令和6年度統合整備推進研修（会計研修）を開催し、各土地改良区の役職員及び関係者84名の出席があった。

冒頭、本会の宮本欣貞会長の挨拶の後、金内琴美全国土地改良事業団体連合会支援部主査、田中克哉全国土地改良事業団体連合会支援部主幹、内橋翔公認会計士よりそれぞれ講義があった。

今回の「財務諸表等作成の手続き」では、会計研修が初めての人も多かったので、基礎編と応用編に分けて説明をいただいた。また、会計の事例については、会計の現場ですぐに活用できる内容であったため、有意義なものとなった。



研修会の様子



全国土地改良事業団体連合会支援部 金内主査による講義



全国土地改良事業団体連合会支援部 田中主幹による講義



内橋公認会計士による講義

研修科目	講師
財務諸表等の作成手続き	全国土地改良事業団体連合会支援部主査 金内琴美
会計処理事例紹介	全国土地改良事業団体連合会支援部主幹 田中克哉
会計相談事例について	内橋公認会計士事務所 公認会計士 内橋 翔
財務諸表等を活用した財務分析の方法	全国土地改良事業団体連合会支援部主査 金内琴美

## 令和6年度換地計画実務研修会開催

12月13日、香川用水記念会館多目的室において、土地改良区体制強化事業の受益農地管理強化対策の一環として、令和6年度換地計画実務研修会を開催した。

この研修会は、換地技術の強化をはじめ、換地事務の円滑な推進や換地業務等に関する知識の向上を目的に開催しており、今年度は換地理論、非農用地協議について、長期相続登記等未了の解消作業について～法務局における各種施策～等4科目の研修が行われ、県、市町、土地改良区の職員など47名が受講した。



香川県土地改良連合会野瀬常務理事による挨拶

研修科目	講師
換地理論	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 農地集団化係長 溝口祐子
非農用地協議について	香川県農政水産部農業経営課 農地マネジメント推進室 主任主事 松浦仁輝
長期相続登記等未了の解消作業について ～法務局における各種施策～	高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 平山則好
換地関係処理事例	香川県土地改良事業団体連合会事業課 副主幹 島田千尋

## 全国水土里ネット会長会議宮崎雅夫顧問国政報告

10月2日、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問の宮崎雅夫参議院議員が来県し、土地改良関係者等に国政報告を行った。

中部、綾歌、仲多度、三豊の4地区の土地改良協議会及び香川用水土地改良区、香川県土地改良事業団体連合会職員への国政報告等を行うとともに、池田豊人香川県知事との面談を行った。

1日の限られた時間での行程であったが、協議会の会長をはじめ多数の参加者への国政報告などを行い、めまぐるしく業務をこなされた。



中部地区土地改良協議会への国政報告等



香川用水土地改良区・香川県土地改良事業団体連合会職員への国政報告



池田香川県知事との面談





綾歌地区土地改良協議会・仲多度土地改良事業推進協議会  
への国政報告等



三豊地区土地改良協議会への国政報告等

## かがわ水土里ネット女性の会第4回運営委員会開催

10月2日、香川県土地改良事業団体連合会会議室において、かがわ水土里ネット女性の会第4回運営委員会を開催した。

はじめに、大平輝子かがわ水土里ネット女性の会会長より開会の挨拶があり、続いて、国政報告のため来県していた全国水土里ネット会長会議顧問宮崎雅夫参議院議員からは常日頃からの支援のお礼と「女性の会で色々な話が出ていると思うのでそこで話された意見を限られた時間ですがお聞かせいただきたい」と挨拶があった。

委員からは、土地改良区の運営に市町の濃厚な関わりをお願いしたい、中山間地域の相続放棄の農地について困っている旨の要望や意見等があり、宮崎顧問は熱心に聞いてくださり後日、資料の送付があった。宮崎顧問退席後も引き続き今後の運営等について活発な意見交換が行われ、第4回運営委員会は閉会した。



全国水土里ネット会長会議宮崎顧問との意見交換会



## 中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会開催

11月29日、岡山市の岡山プラザホテルで中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会が開催された。

冒頭、田窪行雄岡山県土地改良事業団体連合会副会長より開催の挨拶があり、続いて、山田美紀中国四国農政局農村振興部長、大賀則男岡山県農林水産部参与、宮崎雅夫参議院議員から祝辞が述べられた。

その後、基調講演では本田恭子岡山大学農学部准教授から土地改良団体における女性参画の課題と方策と題して講演があった。

続いて、檀床和子鳥取県土地改良事業団体連合会理事より「少しの応援」、三木秀一全国土地改良事業団体連合会土地改良研究所長より「食料安全保障と土地改良」の事例紹介が行われた。

最後に「更なる女性理事登用に向けて課題と解決方策」、「将来を見据えた農業水利施設等の保全管理について土地改良団体がやるべきこと」、「食料安全保障の強化のために土地改良団体に必要なこと」の3つのテーマでパネルディスカッションが行われた。



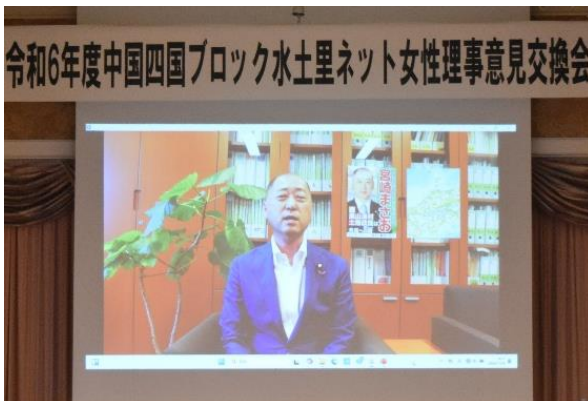
意見交換会の様子



岡山県土地改良事業団体連合会  
田窪副会長による挨拶



中国四国農政局農村振興部 山田部長による挨拶



宮崎参議院議員による挨拶



パネルディスカッションの様子

## かがわ水土里ネット女性の会現地研修開催

12月8日、かがわ水土里ネット女性の会は、昨年7月に開催されたまんのうひまわり振興協議会主催のひまわり栽培コンテストに女性の会の有志で参加した縁もあり、「ひまわりまちおこし」を官民一体となって取り組まれているまんのう町の一般社団法人サンフラワーまんのうにおいて、現地研修を開催した。

今回の研修会は女性理事等を含めた会員が42名参加し、まんのう町長森正志副町長の挨拶の後、一般社団法人サンフラワーまんのうの齋部（いんべ）正典代表理事よりまんのう町の現状や課題、ひまわりオイルの抽出工程の説明、ひまわりの6次産業化と「まんのう町＝ひまわり」となるようにまちおこしに取り組んでこられた経緯の講義を受け、引き続きひまわりオイルの搾油場や館内を見学した。

その後、参加者は6グループに分かれて、「講義を受けて自分たちの地域でできること、地域活性化につながる事」や「日ごろの業務で困っていること」について意見交換を行い、どのグループも活発な意見を交わし、実りある研修となった。



まんのう町 長森副町長による挨拶



一般社団法人サンフラワーまんのう  
齋部代表理事による講義



ひまわりオイルの搾油場見学の様子



意見交換会の様子

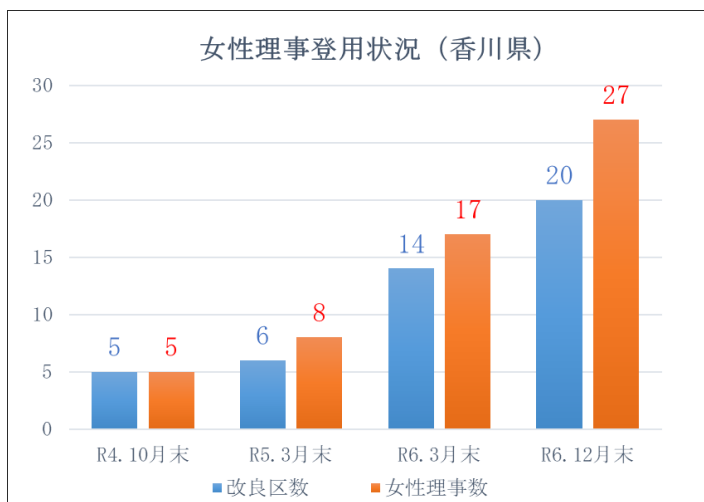




## 土地改良区における男女共同参画推進について

第5次男女共同参画基本計画（令和2年12月25日閣議決定）において定められた令和7年度までに『女性理事が登用されていない土地改良区数を0』『土地改良区の理事に占める女性の割合を10%』とする目標に向けて、女性理事を登用する土地改良区が増えています。

本県においては、令和6年12月末現在、20改良区27人の女性理事が登用されています。



改良区数	うち女性理事登用改良区数	女性理事登用改良区の割合
102	20	19.6%

理事総数	うち女性理事数	女性理事の割合
1,246人	27人	2.2%

※理事総数は令和6年3月末現在

### 女性理事を登用している土地改良区（令和6年12月末現在）

区分	土地改良区名	女性理事数 (人)	うち組合員内・員外の別	
			組合員内	組合員外
全区	香川用水土地改良区	2	1	1
東讃管内	舟岡池土地改良区	2	0	2
	高松市糠山池土地改良区	3	3	0
	高松市太田土地改良区	1	1	0
	国分寺町土地改良区	1	1	0
	大内土地改良区	1	1	0
	木田郡二股土地改良区	1	0	1
	木田郡三木町山大寺池土地改良区	1	1	0
	三木山南土地改良区	1	1	0
中讃管内	綾歌郡亀越池土地改良区	1	1	0
	丸亀市飯山町土地改良区	1	0	1
	坂出市鎌田池土地改良区	2	1	1
	坂出市西庄土地改良区	2	0	2
	坂出市加茂土地改良区	1	0	1
	府中開拓パイロット土地改良区	1	1	0
	綾歌郡永富池土地改良区	1	1	0
	萱原用水土地改良区	1	1	0
西讃管内	五郷土地改良区	1	1	0
	観音寺市大野原町紀伊土地改良区	2	1	1
	三豊市仁尾町土地改良区	1	1	0
合計		27人	17人	10人



## 農業用施設賠償責任保険のご案内

本会では、水路やため池等の土地改良施設への転落事故により管理責任を問われ、多額の損害賠償金が発生した場合に備える「農業用施設賠償責任保険」を取り扱い、万一に備えての保険加入を推進しています。不幸にして人が死傷したり、他人の物が破損し、土地改良施設の管理等に瑕疵があった場合、国家賠償法等に基づき施設管理者の責任が問われ、支払うべき損害賠償額は高額となることがあります。

令和7年度においても、従来から募集しています損保ジャパン（株）の賠償責任保険と東京海上日動火災保険（株）の業務災害補償を取り扱うこととしました。会員の皆様方におかれましては、是非農業用施設賠償責任保険にご加入いただきますようご案内申し上げます。

※加入時期は4月及び10月の年2回としますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

加入会員数 80 会員 (2 市 78 土地改良区)	
施設名	数量
ため池・貯水池	2,010 ヶ所 周囲 735.740 km
農業用排水路	1,011.823 km
農道	200.620 km
揚水機場	14 ヶ所
排水機場	4 ヶ所
頭首工	29 ヶ所
井戸	8 ヶ所
親水公園	3 ヶ所 (7.832 千㎡)

(令和6年10月1日 現在)

## 非補助農業基盤整備資金のご案内

非補助農業基盤整備資金とは、土地改良区等が国からの補助を受けないで実施する土地改良事業・生産基盤整備事業等に対して、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。

県又は市町単独補助事業についても、融資の対象となります。

### ■ 貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合（事業主体になる場合に限る）、農業協同組合、農業を営む者等

### ■ 融資限度額

複数年にわたる事業の場合、各年度とも土地改良区が当該年度に負担する額までとなっています。（ただし、融資1件あたりの最低額は50万円となっています。）

### ■ 金利

\*1.40%（令和7年1月21日現在：非補助事業）

\*融資時の利率が最終償還まで適用される「固定金利」です。

\*借入時の金利は、金融情勢により変動します。最新の金利は、最寄りの日本政策金融公庫・農業協同組合にお問い合わせ下さい。

### ■ 償還期間

最長25年（うち据置期間10年以内）の範囲で、施設の耐用年数等を考慮して決められます。

### ■ 償還方法

元金等償還、元金均等償還のいずれかを選択出来ます。

（最新の利率は日本政策金融公庫農林水産事業融資課にご確認願います。）

会と催し

開催月日	会の名称	開催場所
9月30日 ～10月1日	令和6年度換地関係異議紛争処理実務研修会	高知県
10月4日	大川地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談	さぬき市
10月10日	中讃管内土地改良事業研修会及び土地改良相談	坂出市
10月18日	令和6年度統合整備推進研修（会計研修）	丸亀市
10月22日	第46回全国土地改良大会千葉大会	千葉県
11月1日	かがわ水土里ネット女性の会現地研修	まんのう町
11月5日	農業農村整備の集い	東京都
11月7日	ため池フォーラム in あきた	秋田県
11月12日	令和6年度土地改良区役職員研修会	高松市
11月21日 ～22日	令和6年度土地改良施設の整備補修事例検討会	島根県
11月27日	令和6年度農業農村整備広報担当者研修会・情報交換会（WEB併用）	東京都
11月29日	中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会	岡山県
12月9日	本会令和6年度第2回監事会	高松市
12月11日	令和6年度管内各県耕地関係課長・各県土地改良事業団体連合会事務責任者合同会議（第2回）	岡山県
12月13日	令和6年度換地計画実務研修会	高松市
12月24日	本会第201回理事会	高松市

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

令和七年 元旦

水土里ネット香川

（香川県土地改良事業団体連合会）

会長 宮本 欣 貞 四箇池土地改良区理事長

副会長 三 笠 輝 彦 香川県内場池土地改良区理事長

副会長 齋 藤 勝 範 香川県三豊市三野町土地改良区理事長

常務理事 野 瀬 康 弘 学識経験者

理事 大 山 茂 樹 さぬき市長

理事 組 橋 啓 輔 全県域

理事 栗 田 隆 義 まんのう町長

理事 氏 家 孝 志 琴平町土地改良区理事長

理事 前 川 昌 也 坂出市江尻土地改良区理事長

理事 石 井 和 義 白鳥土地改良区理事長

理事 山 田 勉 則 綾歌郡永富池土地改良区理事長

理事 安 藤 清 高 香川県三郎池土地改良区理事長

理事 森 口 久 士 観音寺市粟井土地改良区理事長

代表監事 井 上 浩 司 小豆島町土地改良区理事長

監事 土 岐 邦 彦 豊浜町土地改良区理事長

監事 松 本 芳 博 丸亀市綾歌町土地改良区理事長

外職員一同 高松市鶴尾土地改良区理事長

